

## 授業科目 栄養学 II

【担当教員名】 塚原 典子		対象学年	2	対象学科	健栄
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○			
【概要・一般目標：G10】 健康の増進には、各ライフステージに適した栄養素等の摂取、運動、休養が重要である。そこで、日本人の食事摂取基準の理解とともに、妊娠・授乳期、乳幼児期、学童期、思春期のライフステージにおける生理的特徴、身体状況や栄養状態に応じた栄養管理、健康と栄養に関する事項、さらには現在の食生活上の問題点および課題について学ぶ。					
【学習目標】 1. 妊娠、発育、加齢など、生体の生理的变化等に伴う栄養状態の変化について理解する。 2. 各ライフステージにおける栄養アセスメントに必要な基礎的知識を習得し、身体状況や栄養状態に応じた栄養管理の考え方を理解する。					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	栄養マネジメント（栄養管理）：栄養マネジメントの概要、栄養アセスメントの方法等			1.2	講義
2	日本人の食事摂取基準：目的、基本的考え方、策定および活用の基礎理論等			1.2	講義
3	成長・発達、加齢：概念および成長・発達、加齢に伴う身体的・精神的変化と栄養管理			1.2	講義
4	妊娠：妊娠の成立等、および妊娠期の栄養管理			1.2	講義
5	授乳期：授乳女性の生理的特徴、栄養アセスメント、栄養と病態・疾患等			1.2	講義
6	新生児期・乳児期：新生児期・乳児期の生理的特徴			1.2	講義
7	新生児期・乳児期：新生児期・乳児期栄養アセスメント、栄養補給法、栄養ケア等			1.2	講義
8	幼児期：幼児の成長・発達			1.2	講義
9	幼児期：栄養状態の変化等、栄養アセスメント			1.2	講義
10	幼児期：幼児期栄養と病態・疾患、生活習慣、栄養ケアのあり方			1.2	講義
11	学童期：学童期の特性、成長・発達			1.2	講義
12	学童期：栄養状態の変化、栄養アセスメント等			1.2	講義
13	学童期：学童期の栄養と病態・疾患、生活習慣、栄養ケアのあり方			1.2	講義
14	思春期：思春期の特性、成長・発達、栄養アセスメント			1.2	講義
15	思春期：思春期の栄養と病態・疾患、生活習慣、栄養ケアのあり方、まとめ			1.2	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		シリーズ マスター応用栄養学	市丸雄平、岡純編	建帛社	2,700円・最新版
		日本人の食事摂取基準（2010年版）	厚生労働省 策定	第一出版	2009
参考書		健康・栄養科学シリーズ 応用栄養学	戸谷誠之、伊藤節子、渡邊令子	南江堂	最新版
その他の資料		国民健康・栄養調査報告	健康・栄養情報研究会 編	第一出版	最新版
【評価方法】 授業態度等の平常点、定期試験等から総合的に評価する			【履修上の留意点】		